

【昭和26年】 1951

◎新鶴小学校を分け、新鶴第一小学校・新鶴第二小学校となる

◎新鶴村農業委員会発足

◎大谷地に新鶴第二小学校仏沢分校の季節分校開設

◆福島市内の電話が自動式になる◆日本航空が設立され、国内航空が復活◆サンフランシスコで対日講和条約・日米安全保障条約調印

【昭和27年】 1952

◎福島県立農事試験場、会津葉用人参試験場と改称

◎大谷地部落全焼（季節分校用借家も）

◎新鶴村教育委員会発足（公選）

◆テモ隊と警官隊が衝突、血のメーデー事件となる◆羽田空港が返還され東京国際空港となる◆県営信夫ヶ丘競技場完成◆国際通貨基金（IMF）に加盟◆第7回国民体育大会が福島県で開催される◆県内350市町村に教育委員会発足

【昭和28年】 1953

◎米沢部落簡易水道完成

◎弘安寺中田観音堂屋根葺き替え工事

◎新鶴中学校屋内体育館新築

◆NHK東京テレビ局が1日4時間のテレビ本放送開始◆中国からの引き揚げが再開され、舞鶴港に入港する◆日本テレビが民放初の本放送を開始◆冷害・霜害・風水害により農作物に大被害◆町村合併促進法公布◆会津線が滝ノ原まで開通◆ラジオ福島が開局し本放送開始

【昭和29年】 1954

◎常福院薬師堂（田子薬師堂）解体修理着工

◆アメリカによるヒキニ環礁での水爆実験で第5福竜丸が被爆◆町村合併促進法により県内に7市が誕生◆県庁の新庁舎落成◆県農業協同組合中央会設立◆青函連絡船「洞爺丸」遭難・死者・行方不明1155人

【昭和30年】 1955

◎大谷地溜池堤防決壊、流域の被害大

◎新鶴村土地改良区設立（旧赤沢川土地改良区ほか）

◆広島で第1回原水爆禁止世界大会開催◆森永ヒ素ミルク事件発生◆ガット（関税および貿易に関する一般協定）に正式



新鶴中学校落成式（昭和25年／山口佐幸氏提供）

【昭和31年】 1956

◎7月16日～17日、台風9号による風雨のため大洪水、被害大

◎新屋敷簡易水道完成（着工29年2月）

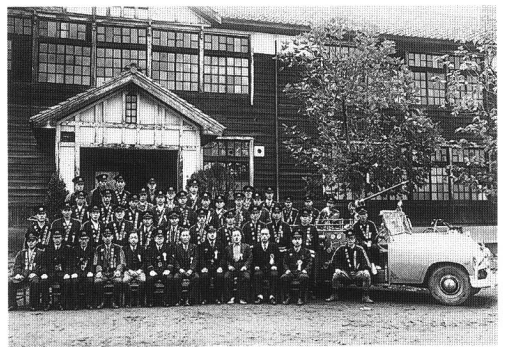
◎佐賀瀬川改修工事始まる

◆原子力三法公布◆県教育会館新築◆日ノ国交回復に関する共同宣言調印◆第1次南極観測船「宗谷」が出発◆国連総会が日本の加盟を承認

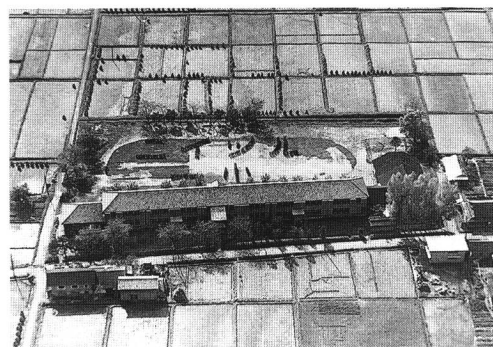
【昭和32年】 1957

◎新鶴第二小学校仏沢分校にへき地集会所新築

◆南極観測隊がオングル島に昭和基地設営◆東北開発促進法公布◆国連安保理の非常任理事国に当選



消防自動車ポンプ購入披露式記念（昭和28年／山口佐幸氏提供）



新鶴第一小学校校庭の人文字（昭和30年頃／一条盛一氏提供）



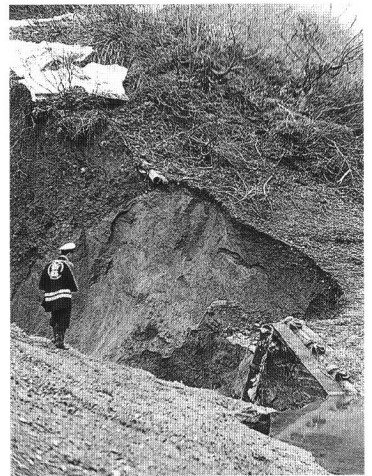
台風9号による水害。上小沢地区（昭和31年／渡部輝男氏提供）



台風9号による水害。阿久津地区（昭和31年／洪谷幸義氏提供）



大谷地溜池堤防決壊で家財を対岸に渡す二岐の住民（昭和30年／菊地定吉氏提供）



大谷地溜池堤防決壊口を見る消防団員（昭和30年／菊地定吉氏提供）